



みなとのゆきひさくん



区議会レポート 号外版
2011年 2月7日発行

発行者 秋元ゆきひさ / 編集・制作 一票の会
〒107-0062 東京都港区南青山3-7-9
Tel&Fax 3479-2129 yukihisa@minato-akimoto.com

一票の会の会派名は誰もが持っている等しく自由な一票が民主政治の原点そして基本であり政治参加への一歩であるとの思いから命名しました。

構想 港区

皆さんと一緒に考え、創造し、区民のためになる区民からの政策提言、それが「構想港区」です。ここに掲載しきれない構想もあります。また皆さんからの構想もおありかと思ひます。ご意見をお待ちしております。

ハードな政策とソフトの運用の間にハートフルな対応を

役所の説明責任、区民の知る権利が1つの情報という名のボールとなりキャッチボールがスムーズに行なわれた時、初めて情報の質の均等化、共有化が計られ満足度の高い住民サービスの提供に繋がるものと考えています。

5つの大切

区民を大切にするキーワード

- ① 環境=生きるを大切に
- ② 教育=子供を大切に
- ③ 福祉=いのちを大切に
- ④ 街づくり=住むを大切に
- ⑤ 役所、議会改革=税金を大切に

構想実現のために

今必要なのはリアリティのある政策の提案だと思います。政策にリアリティを持たせ、現実私たちの生活がどう変わるのか、変わっていくとしたらどの様になるのかを区民の方々にプレゼンテーション出来る役所、議会の存在が求められていると思います。港区の未来に対し責任を共有しようという方々の声が大きく役所、議会に響きわたるその時、港区は大きく変わる、私達の望むもっと「区民を大切に」する役所、議会が実現されるものと確信しております。

※具現化したもの=★ 実施されているが達成度および実態、成果等が道なかばのもの=●
実施にむけ検討が進められているもの=○ 検討課題となっているもの=△ 個人的レベルの課題となっているもの=無印

テーマ	主題	政策アクションプラン	具体的内容及び基本的な考え方
① 環境	(生きるを大切に)	グリーンタウンみなと、環境先進区をめざす△	四季折々の花と緑の街づくり常緑樹をいっぱい、NOX・CO2の削減を
		自然エネルギー★	太陽光発電設備に対する補助
		歩道上バイクの徹底取り締まり	① 一定規模以上の開発業者はバイク駐車を建物内に設置を、コインPには一定数のバイク駐車スペースを
		お台場の海を泳げるみんなの海へ	○ 東京都が浄化実験プラントを実施、区も全面協力へ
		清掃事業民営化	① 民間コストはk/8~10円、区営は k/約50円、民間委託し収集日を週1日増やす
		小学校の庭に井戸災害用トイレを設置	① 電気にたよらない井戸(手押しポンプ)災害時に有効/災害用マンホールトイレの設置
		バリアフリー社会の実現	① 街のバリアフリー化、住宅のバリアフリー化支援
		ヒートアイランド対策	○ 具体的な施策も取られていますが、対処療法的な感じがなめません
		海、川と街の共生	① 都市型火災への対応古川の浸水対策、水辺の空間づくり
		買い物難民対策を	虎ノ門地区を始めとして対策検討会設置を 区内買い物難民地域マップの作成から取組みを

② 教育	(子供を大切に)	小、中、高一環教育	△ 教育(学校)の選択権を区民に、多様な学校と教育カリキュラムの策定
		校庭の芝生化	① 遊んで安心楽しい校庭、地域コミュニティの核に/お祭り広場としての活用
		学校と児童館の一元化	○ 小、中学校内に児童館を設置、希望児童の全員受入及び障害児への対応の充実 移動がなく安心、安全 時間の延長も
		給食に安全、安心な食材を	★ 農産物別に年度ごとの導入目標数を設定/H19年度に向け始めて数値を設定20%目標(21年度達成)さらに高い目標を
		小学校に指導助手配置	★ 学ぶことの意味が理解できず学校先生嫌いになる子供を救う
		教育委員会メンバーを公募	△ 子育て代表を教育委員会へ、国の指導でも一人は子育て世代をと言っています(現況は名誉職、委員会の御用機関化しています)
		学校警備の機械化(夜間)	△ 生徒児童在校中及び学校開放時は有人対応
		トムソーヤパーク	△ ツリーハウス、ログハウス作り、大人になってもまた行ってみたい校庭、公園
		非常通報体制(幼・保・小・中学校)	○ 都、区規準より区民規準でより安全な多重システムの導入 体育館、教室などにインターホンを
		小1プロブレムの解消	△ 幼稚園、保育園から小学校へ遊びから学ぶへのスムーズなカリキュラムを(品川区では取組を始めています)
		区独自の教員採用を	○ チームティーチングが採用、拡大されていますが、単に担任の補完にとどまらず、役割と雇用条件の改善を
		教員人事権を市町村区へ	△ 人事権があって始めて質の高い教員の確保が可能です(現況、2年~6年で他校へ移動してしまいます)
		いじめの解決	○ 取り組みはされてきていますが、効果が上がっている状態とは言えない すばや初期対応と被害者の立場にたった配慮を
		区独自の校長、教頭の採用を	△ 杉並区の成功例を参考に、多才な人材が民間にはいます

キリトリ

1078790
123
東京都港区南青山3-7-9
秋元ゆきひさ 行



料金受取人私郵便
赤坂支店承認
1029
差出有効期間
平成23年5月
31日まで
(切手不要)

お名前
ご住所
港区



H22年春 千葉県館山市にて田植体験(長男小6 長女小5と)

③ 福祉	(いのちを大切に)	幼、保一元化	○	多様な育児ニーズに対応するには、幼、保一元化は急務/H19年度芝浦港南地区に一拠点 現在幼、保一体化となっています
		福祉オンブズマン制度	△	福祉全般(含む介護保険)について第三者機関による評価システムづくり
		障害者(児)基金の創設	△	障害者の自立支援と保護者なきあとの生活支援を目的に基金を導入
		年金、保険料評価委員会設置		年々高くなる各種保険料について区民参加による開かれた委員会を設置
		保健所機能の充実	△	支所単位で受けられる幼児健診、食の安全検査の拡充
		DV、児童虐待かけ込み寺	●	現在利用されていない区有施設を第一候補に設置いじめ児童への対応も
		高齢者雇用、活用の促進を	●	現状のシルバー人材センターのあり方では不十分です 港区の高齢者の能力、活力を發揮出来る新しい組織を
		子供と高齢者窓口の設置を	△	増えている高齢者、子供達の問題は当事者だけではなく、ささえている家族、育てている家族の問題でもあります
		障害者自立支援法の根本的改革	○	いまのままではようしえんせん制度と言えます 生活実態にあった制度改革を
		特養ホーム、保育園の待機者をゼロに	△	高齢化率(65才以上 35,648人 17.7%)と同時に人口増加のため施設拡充が急務の課題です
		民生委員、介護相談員など福祉ボランティアの待遇改善		貴重な意見やレポートによる改善事項等の指摘に対して真摯な対応を
		消費者相談センターの充実		食の安全、製造者責任、通販トラブル、振り込み詐欺など多様化する問題に対応

④ 街づくり	(住むを大切に)	個性とバランスのある街づくり	○	街づくり委員会の設置、地区計画(高さ)用途地域(建ぺい率)の見直し
		街づくり委員会創設	△	小学校区単位のコミュニティリンクの核づくり地域の人達と一緒に考え、創る街
		地域エコマネーの導入	○	コミュニティと福祉の新たな取り組みの軸に、福祉エコマネーを高齢者の方へ
		シティバス(区内循環)の運行	★	買い物、病院、公共施設、ビジネス、観光等多目的バス
		区民とつくる公園計画	○	計画段階から区民参加(スポーツ公園、児童公園、癒し公園)
		電信柱地中化	●	地中化の促進、難しい箇所は歩行の邪魔にならないよう移設
		国、都、区道上の街路灯に広告を	●	商店会等を通して収益を商店会、地域振興に(都、区道は条例改正されました)
		町会単位または小学校単位にお祭り広場を		お祭りは地域コミュニティの原点です、多目的広場を(災害時には緊急避難場所としても活用)
		安全、安心ラジオの全世帯への提供		聞こえない防災無線、万ー停電のTVよりラジオです(特にお一人高齢者住まいの方々から順次)
		超高層マンションに適応した防災対策が必要	△	超高層住宅の災害防災基準が求められています 近隣への影響も大です 避難、救助、消火等の体制を
		米軍麻布(六本木)ヘリポートの返還	○	国内航空法にもとらわれず高度300m以下で低空飛行 騒音被害、万一の事故等も予測されます 米軍は約束を守り返還すべき
		人と自転車と車のソフトウェーの街づくり		エコな自転車の普及が急速に進んでいますが、同時にルールとマナーそして道路の環境整備が求められています。

⑤ 役所・議会	(税金を大切に)	情報公開	★	外郭団体も実施機関に 最近安易に公務上であっても公務員の氏名をふせる傾向があり問題です
		区民参加条例	△	政策立案過程から区民参加の保障
		庁議会の全面公開	△	国で言う閣議です 政策決定プロセスをすべて公開(平日、夜間、土日開催)
		入札制度公共事業、積算審査委員会の設置	△	談合の排除と入札率(%)の圧縮
		副区長一人制		23区中20区が一人制を導入済(副区長年間報酬1,800万円期末手当込み)一期4年退職金約1,500万円
		職員の給与削減(区長、副区長を含む)		3~5%程度削減(年間約12億円節約)
		職員定数条例の改定(減員)	○	都の23区職員定数算定でも2~300人過員状態
		タイムコーダーの導入	●	朝遅刻職員の一掃、朝1時間休暇の圧縮、本庁舎勤務約1,000人中620人が年間約2,600時間取得
		公文書に文書作成者名	△	職員一人々々が責任感を、責任の所在を明確にする
		職員による庁内清掃		学校では教室を子供達が、職員も自分達の職場は清掃を(本庁舎だけで年間約2千万円の節約)
		区民の区役所雇用推進	△	職員の天下り、再任用、再雇用を圧縮し活力、能力ある区民を積極的に採用
		パブリックコメント制度	△	一定額以上の公共事業については計画段階で区民の意見を、ただ意見を聞きました、ではなく区政に反映する仕組み
		外郭団体の整理統合	○	スポーツふれあい文化健康財団は区に戻します H19年度以降8つの内4つは廃止の方向 民間活力、能力の導入を目指します
		議員関係経費の削減		報酬、期末手当、費用弁償の縮減、開かれた議会に、夜間、土日の開催
		区民協同(働)条例の策定	△	区民参加、協同(働)をめざすなら区や外部団体への雇用を積極的に計ると共に待遇、報酬についても一定以上の基準、ルールを作る
		区職員の外部団体への派遣、天下り再就職は禁止を		民間人、特に区民の採用拡大を計る 区民参加、区民協同(働)をうたうならまず区役所から、民間人管理職の雇用を
		事業委託契約会社社員の雇用条件の改善を		最低賃金等の引上げ処遇等の改善が結果的にそのサービスの提供を受ける区民の安全安心に継がなる(例:学校警備員など)
		都区財政調整制度	△	調整3税……それぞれ法人分区市町村税、固定資産税、特別土地保有税について都区における納得のいく配分を
		事業(規制)仕分けの実施を	△	100以上の地方自治体ですでに実施しています
議会基本条例の創設		本会議場における区長、議員間(各会派代表)の質疑応答及び委員会における議員間の自由討議の時間を担保する		
非常勤、臨時職員の待遇改善を		同一労働同一賃金の原則を、勤続年数に合わせた給与体系を		
行政委員(選挙管理委員等)の報酬を月額制から日額制		選挙は平均3年に一度と言われています 月額制から日額制で経費の大幅削減が可能です		
大阪橋下知事・名古屋河村市長		両首長の行財政改革及び市民参画による役所・議会改革に賛同します		

構想港区へのご意見また皆様のご意見を構想として今、最も早く取り組んでほしい課題などお寄せください。(FAXは3479-2129です)

① 環境
② 教育
③ 福祉
④ 街づくり
⑤ 役所・議会
⑥ その他早急に取り組んでほしい政策など

このハガキに記入された情報は秋元ゆきひさのみ使用とし、その他の目的では使用致しません。

秋元ゆきひさの略歴

1951年、東京都港区青山生まれ。区立青山小卒。明大中野高校卒業後は、単身でオーストラリアに留学。ザルツブルグ州内のスキー学校で助教師として活躍するなど、ヨーロッパの社会生活を体験し、国際的な感覚を身につける。後年は日本で初めてのハーブティー専門店エクサンプロヴアンスを立ち上げる。

現在は環境NPO団体や消費者団体に所属し自ら実践行動する環境推進派。現職区議時には区役所改革、環境問題に熱心に取り組み、無駄遣いの支出停止また返還、あきる野市での環境学習「港区民の森」設置に寄与する。

また、食の安全安心の立場から、学校給食のあり方についても、減農・無農薬食材の導入を提唱。確実に実行するために、数値目標の設定を教育委員会に対し議会で提案し、教育長もそれを約束しました。(H21年20%目標達成)さらに目標数値を上げていきます。

現在は、「みなとオンブズマン」という組織を発起し、都市と自然の調和のために、区民の立場から行政をチェックし、住みやすい街づくりを目指し活動中。区議会議員時代に発行した区議会レポートは、のべ100万枚を超えました。前回選挙では41票差で次点、惜敗。(無所属)